

動労千葉^{オ2}臨時大会へ結集せよ

日刊 動労千葉

79.5.28

No. 131

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二二五八・九・公衆電話三三二七二〇七

全組合員の皆さん！
ゆいゆいは、3.30結成大会以降「本部」暴力集団のあらゆる動労千葉破壊策動を一つ一つ粉碎し、着実に前進してきました。
5月31日に開催される動労千葉オ2

5月31日、10時
千葉市・労働者福祉センター

回臨時大会を、この2ヶ月の闘いであちこちの勝利を確認し、打ちかため、動労大改革にあかつて一四〇〇組合員がさらに団結をかためて前進するための大会として、圧倒的に成功させようではないか。5.31全力で労働者福祉センターへ、

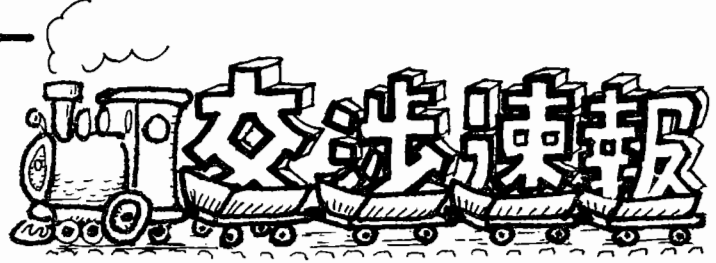
着実に前進する動労千葉、意識分裂を深める本部暴力集団

千葉破壊「オルグ」の結団式(多、東京社会文化会館)で、「本部」青木書記長は「四日間で千葉再建の旗上げをやる」とがち上げました。
しかし、3.19、20オ一次全国動員以降「三万人」に及び全国動員を強制し「債を越える組合費」のムダ使い、79春闘の完全放棄、「貨物安定宣言」路線をもって国鉄大合理化攻撃に卒先協力し、国鉄当局・国労内革同(百カトリ)に動労千葉破壊をけしかけるなど、労組組合にあるまじき卑劣な策動をくり返しても、先のオ104臨時大会では「総括は、後日行なう」「千葉の職場に入れたことが成果だ」と言いのがれざるを得なかつたのです。

こうした「本部」暴力集団とは逆に、動労千葉はこの2ヶ月間の闘いを通して着実に前進し、強固な組織体制を確立してきたことは、既に「日刊動労千葉」等で明らかにしてきた通りです。

本部「暴力集団」の妨害を粉碎し、オ2回臨時大会を圧倒的に成功させよう

ゆいゆいは、3.30結成大会をもって、動労の私物化と暴力支配「動労運動の変質を阻止し、激闘の80年代を闘う労働運動の再生をめざし新たな闘いに出発しました。以降の2ヶ月間の闘いは、あらゆる意味でゆいゆいの正しさを証明し、はつきりと勝利の展望をきりひらきました。5月31日オ2回臨時大会をもって、この間の闘いを総括し、更に前進するための方針をうち立てようではありませんか。密集した反動をぶち破って着実に前進してゆく、ゆいゆいが動労千葉の姿に恐怖した本部「暴力集団」は、オ2回臨時大会の破



二線高架切替交渉

労働条件妥結！
訓練実施は、36協定向題解決後！

標題の交渉事案については5.19、22 両日にわたって、動労千葉交渉部が中心になり、当局と交渉を展開してきましたが5月24日、左記の内容で労働条件のみについて大筋了解を結しました。
なお、訓練実施は36協定向題が解決した後に行うこととします。

ます。動労千葉の交渉を妨害することのみに熱心な「本部」小屋原交渉団は、取場に足もなないため相手にもされず、完全放棄。姿も見せなかった。

集約内容

1. 机上訓練……超勤措置4時間。
2. 線見訓練
勝浦・館山・銚子(超勤措置7時間)、成田・佐倉・新小岩(同5時間)、津田沼・蘇我(4時間)千葉運転区(3時間)
3. 運転線路変更に伴う訓練(切替当日)
勝浦・館山・千葉・津田沼……該当乗務員超勤措置1時間
4. 訓練対象者
本線乗務員・指導・交番係・100・200予備・運転技術。
5. 線見訓練行路の1往復は、千転・津田沼の指導員が添乗説明。以上。